

がっこう
学校だより

平成22(2010)年7月1日

に ら り ん



日 輪

ほんこうきょういくもくひょう
本校教育目標

ふれあおう
たの
しまう
まな
学びあおう

へいせい ねんど がつ ふみづき
平成22年度 7月 文月

よこはましりついいだきたしやうがっこう
横浜市立飯田北小学校
こうちやう むとう まきこ
校長 武藤 牧子

生きる力

がっこうちやう むとう まきこ
学校長 武藤 牧子

校舎の周りの紫陽花が色鮮やかな季節を迎えました。プールでは、水泳学習も始まり子どもたちの歓声が聞こえてきます。湿度の高さとともに日本中が熱くなっているサッカーのワールドカップ南アフリカ大会。先日のデンマーク戦の翌日、登校する子どもたちから、「先生ワールドカップ見た。」という声をたくさん聞きました。政治も経済も不安要素ばかりの中、ワールドカップでの勝利は、一時の喜びを私たちに与えてくれました。

ブゼラ（メガホンのようなもの）の音でフィールド内は、監督の声（指示）も聞こえない状況の中でのデンマーク戦で、日本チームの指揮官である岡田監督が試合途中に選手自らの訴えにより戦略の変更（隊形）をしたという報道がありました。ここに、私は教育とつながるものがあるように思いました。それは、選手が自らの判断をもって試合をつくっていったということです。

平成23年度より施行される学指導要領改訂においても『生きる力』を育むという理念を継承しています。その『生きる力』としてあげられている、『基礎・基本を身につけ、自ら学び、考え、主体的に判断、行動する資質や能力』は、子どもたち一人ひとりが、基礎的・基本的な知識・技能を習得し、それらを活用して進んで課題を解決しようとするのであり、このデンマーク戦で見た日本チームの選手の姿につながるものだと思います。そのために、一人ひとりの子どもが、主体的に学習に取り組み、学ぶ喜びを感じることができる学校教育を目指します。

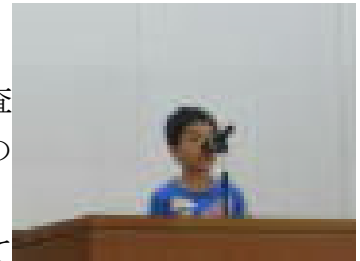
わたしの〇〇



朝、登校するとランドセルをしょったまま1
・2年生の子どもたちは、自分の植木鉢のところ
へ いきます。「先生、わたしの朝顔大きくなった
よ。」 うれしそうに話してくれる子。「雨だけ
ど、お水 あげようかな。」と思案の末、少しだけ水
をあげる 子。子どもたちは、自分の育てている
朝顔やミニトマトの成長を楽しみながら世話を
つづけています。先日、2人の男の子が、自分の鉢にお水をあげた後、お友だちの鉢にもお水
をあげていました。とてもほほえましく思いました。自分のものは大切です。1番は、自分、
それで終わりではありません。次は友だちのものも大事なのです。

伝えることの難しさ

6月11日の集会は、国際平和スピーチコンテストの校内審査
でした。全校児童が見守る中、4年生から6年生までの11名の
代表者によるスピーチの発表です。自分の思いを伝えようと
一人ひとり緊張しながらも精一杯発表しました。3分間がとて
も長く感じたことと思います。言葉の大切さと心を伝えることの難しさを実感したことで
しょう。



人前で発表できた勇気に大きな拍手を送ります。

2010 ワールドカップサッカー 南アフリカ大会



惜しくも8強入りはなりませんでした、たくさんの夢と感動を
与えてくれました。

生きる力、信じ合える仲間達、心一つになることの素晴らしさ・・・
たくさんのことを教えてくれた全てのチームの全てのプレーにあらため
て「感謝」です。

